

平成15年度 情報工学コース卒業研究報告要旨

阿草 研究室	氏 名	水野 佑基
卒業研究題目	ビジネスオブジェクト連携のためのインタフェース 整合手法	

本研究報告では、ビジネスオブジェクト連携時に発生するインタフェースの不整合を解消する手法を提案し、インタフェース整合機能を持ったビジネスオブジェクト実行基盤を作成する。ビジネスオブジェクト実行基盤は、ビジネスオブジェクト連携の情報を入力として、ビジネスオブジェクト間のインタフェースを整合し連携することでビジネスシステムを実現する。

ビジネスシステム開発で、ビジネスオブジェクトを利用した開発が注目を集めている。ビジネスオブジェクトは、業務を構成する要素をオブジェクトとしてモデル化し実装を行ったものである。ビジネスオブジェクトはコンポーネントを組み合わせることで実現したソフトウェア部品であり、連携することでビジネスシステムを実現する。ビジネスオブジェクトを利用することでビジネスシステム開発の生産性を向上できる。

ビジネスオブジェクトの連携時にはデータであるビジネスオブジェクトの受け渡しが行われる。連携するビジネスオブジェクト間で構造の異なるデータを受け渡す場合にインタフェースの不整合が発生し、ビジネスオブジェクトの連携ができなくなる。

ビジネスオブジェクトが受け渡すデータは、構造が異なっても内部のデータ項目がビジネス上で同じ意味を持つ場合がある。データの構造とデータ項目の意味を利用して受け渡し可能なデータに変換することでビジネスオブジェクト連携時のインターフェースの不整合を解消する。

